



平成21年度 只見町敬老会

9月13日、平成21年度只見町敬老会が只見・朝日・明和の各地区センターで開かれ、今年度内の満75歳以上の方々が、只見地区で142名、朝日地区で192名、明和地区で222名の合計556名出席されました。平成21年9月1日現在の福島県の高齢化率（総人口に占める65歳以上の人口の割合）は、24.7%で、同時期の只見町の高齢化率は41.3%であり、県内で5番目に高いものです。また、町内には満百歳以上の方が6名おられ、長寿の町となっています。

健康で長生き！元気の源は楽しく話し笑うこと…



▲只見地区のアトラクション



▲朝日地区のアトラクション



▲明和地区のアトラクション

元気な笑顔が会場いっぱい！

只見地区の敬老会では、只見町長の代理として、山内幸三総務企画課長が「皆様はこの町を地域を築いて来られました。その経験と豊かな知識を活かされ、今後も町の発展のためご協力をお願いいたします。これからも、お元氣でご活躍ください」とあいさつをしました。続いて、齋藤邦夫町議会議長が祝辞を述べ、只見地区老人クラブ連絡協議会会長の関谷一さんが「地域社会の充実のために、若い人と力を

合わせ協力していきます。これからも健康に留意し頑張ってください」と謝辞を述べました。祝宴では、趣向を凝らしたアトラクションが演じられ、只見保育所年長組の児童がお遊戯を披露したり、婦人会の皆さんによる舞踊など多彩な演目が行われるたびに会場内は大きな拍手と歓声につつまれ、出席者も主催された皆さんも一緒に楽しめました。心がこもった年1回の敬老会は、まさしく出席された皆さんの元氣の源であると思えます。これからも長生きしてください。